

「山の辺の道」を歩く

神津 美由紀(高20回)

風薫る初夏の奈良路「山の辺の道」を歩いた。三輪山から奈良へ通じる古道である。崇神天皇陵など大小の古墳群を見ながら、道のそこ此処にある万葉の歌碑を読みつつ、石上神宮までのおよそ十六kmの道のりを歩く。まるで、いにしへの神代の世界にでも迷い込んだような不思議な感じだ。

石上神宮の境内に足を踏み入れると「神の使い」として神聖視された、色鮮やかな美しい羽根を持つ鶏たちが迎えてくれる。長鳴鶏・烏骨鶏など四十羽ほどの鶏の放し飼いだ。自然豊かな境内にはイタチやタヌキもやってくる。その為、暗くなる前に低い樹々から高い枝に飛び上がり一夜を過ごすという。人馴れした鶏は、あまり逃げることなく、ゆっくり眺めていると飽きることがない。丸つとした可愛い姿と鳴き声に癒され時間も忘れて楽しめた。子ども頃、庭に放し飼いにされていた鶏を思い出しながら...

ふと足元には、卵から抜け出したばかりの幼い亀がのそのそと。古墳を囲む濠の草むらには、オタマジャクシから孵ったばかりの蛙が元気にぴよんとジャンプする。そんな彼ら



会長挨拶

砂子澤 敏子(高22回)

例年になく早い梅雨明けから猛暑となり、上田市も国内最高気温を記録いたしました。さらにコロナ感染が拡大し重症化リスクは低いと言われつつも落ち着かない令和四年の夏となっております。

引き続きのコロナ感染の状況下、総会を開催し集めたいと思いつつ未だ叶わないことを本当に残念に思っております。昨年同様、事業及び会計報告、新年度計画をこの会報にてご確認いただけますようお願いいたします。

今後感染状況が改善いたしましたら、今年度は年明けとなりましても研修会などを開催したいと役員一同願っております。

今年度は高二十三、三十四、三十五回生の方々にも広報紙を送付させていただきます。早くに致しました。

昨年は広報の一環としてホームページを立ち上げることが出来ました。早速に二十歳代の同窓生ほかか

に現実へ引き戻されて辺りを見渡せば、田んぼは田植えを待つばかり。柿畑の若葉が陽を浴びてキラキラと光り、ミカン畑の花の匂いがブーンと鼻をつく。三輪山の麓から遠くに目をやれば大和三山が見える。何とも長閑な、心地良い山の辺の旅だった。

【投句】

三輪山の青もろともに柿若葉
三山をおさめ大和は麦の秋

【会員ご活躍】

「中澤きみ子さん五十周年記念音楽会」

五月二十七日紀尾井ホールにて開催されました。役員有志五名で素晴らしいコンサートに何うかが出来ました。高20回の中澤きみさんはバイオリンリストとして指導者として半世紀にわたり活動されて来られました。その集大成の音楽会はコロナ禍で順延となっておりましたが、ようやく開催されました。大きな感動をいただきました。これからもますますのご活躍を願っています。



呼 応
上田
第37号発行元
上田染谷丘高校
関東同窓会事務局
〒169-0051 新宿区
西早稲田1-22-3-706
(砂子澤方)
TEL.03-3207-5507

ら入会のお申し出をいただきまして本当に喜んでおります。また、会員のご活躍も少しずつタイムリーにお知らせすることが出来ました。会員活動の一助となった事を嬉しく思っています。今後どうぞパソコンやスマートフォンからも会の歩みをご覧ください。また、また同窓生のご活躍もご覧いただけましたらと思っております。さて、八十名の方々よりご寄付をいただきました。改めてお礼申し上げます。お心に添えるべく有意義に活用させていただきたいと思っております。皆様からのご投稿も是非お寄せいただけますようお願いいたします。

ご挨拶

校長 山越 弘

関東同窓会の皆様、はじめまして。本年度四月から上田染谷丘高等学校長を拝命することになりました山越弘と申します。どうぞよろしくお願いたします。私は昭和五十七年度第三

『MOROHA』武道館コンサート

高58回、同級生男子お二人で活躍中のライブコンサートが二月十一日、日本武道館にて開催されました。



これから注目し声援を送っていききたいと思います。



▲上田特産みどり大根収穫祭

二〇二二年度役員を
紹介いたします

- 会長・広報委員 砂子澤 敏子 (高22回)
- 副会長 関根 澄子 (高28回)
- 副会長 青木 妙子 (高26回)
- 会計 藤本 真弓 (高28回)
- 幹事・広報委員 神津 美由紀 (高20回)
- 広報委員 橋本 由美子 (高22回)
- 広報委員 高瀬 麻美 (高31回)
- 相談役 水野 美代子 (高18回)
- 監事 岡本 令子 (高18回)

編集後記

今年こそは総会も開催出来るのではと期待しつつ、またも感染拡大の状況となったままの会報発行となりました。会員みなさまとつながるのはこの会報紙とホームページというところに今年度もなるのでしょうか。

この三年間、母校の後輩達もコロナの状況下という現実です。これにめげず勉学に励み、上田染谷丘高校での生活を楽しんでもらいたいと思います。会員皆様のご健康を何よりも願っています。

(広報委員会)

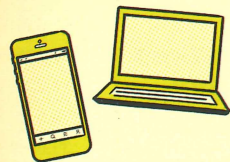
本校同窓会から

同窓会長 小林 令子(高25回)

昨年母校は、創立百二十周年を迎えました。募金活動では、多くの皆様のご協力で千七百万円余が集まりました。ほぼ計画通り記念事業を行うことが出来ました。中澤きみ子ご夫妻をお呼びしての記念式典も十一月二十二日に実施することができました。今年度は三年ぶりに役員総会を、人数を限って行い、十月の総会は、午前開催で実施する予定です。コロナも収まらない中ではありますが、できる範囲で少しずつ活動を進めていきたいと考えております。

ホームページが開設されました!

関東同窓会のホームページを開設し、一年が経ちました。多くの方にご覧いただいております。このアドレスにスマホやパソコンから訪問してください。会員の活動、イベント情報も随時掲載して参ります。皆様からの投稿をおまちしております。



https://someyaokanto.net

二〇二一年度事業報告

昨年に続くコロナ禍の影響で関連団体（長野県高校同窓会連合会・東信同窓会連合会）の総会などは全て書面決議にての開催となりました。また、本校同窓会役員総会、秋の総会、さらに百二十周年行事への参加も中止となりました。会報の発行に伴う役員会や新年度に向けての役員会などは定期的に開催することが出来ませんでした。また、東京上田会理事会にも参加してまいります。

総会について

一昨年、昨年に続きコロナ感染予防のために大変残念ですが総会の開催を中止とさせて頂いていただきます。感染状況により年度内に研修会を開催したく思っておりますが、この八月現在においては見通しを立てる事が出来ません。

二〇二二年度活動予定

四月二十三日……関東同窓会役員会
五月十二日……県同窓会連合会役員会
五月二十七日……

……関東同窓会広報委員会
……中澤きみ子さん五十周年
……コンサート役員有志参加
六月十九日……関東同窓会役員会
……八月、十二月、一月、三月開催予定
七月二十五日……本校同窓会
……事務局へ支部費受領
七月二十八日……県同窓会連合会
……正副会長・事務局長会
……九月、十一月にも開催予定
八月二十日……会報発送
十月……本校同窓会総会開催予定
於～上山田清風園

その他東京上田会理事会、秋の集いに参加お手伝い予定

年会費納入のお願い

関東同窓会は会員皆様の年千円の会費により運営されております。二〇二二年度年会費は十二月末までに同封の振込用紙にて納入をお願いいたします。

寄付のお願いとご報告

昨年は本科一名、高校七十九名の方から二十八万五千円のご寄付を

寄稿 恩師 会員より

「はるか昔そして今」

西村 善次（化学教諭）

私は一九六二年四月から二十八年間、五つの高校で教員として過しました。三十一才から五十九才、初任校は長野、ここは五年間、次が皆さんの母校上田染谷丘で十年間お世話になりました。二十八年間の約半分をこの二校で過ごすことができたのは私の宝物です。ここではそのこと少しをお話します。

ある方の熱いお力添えで信州大から長野高校に移った私、実は教科のことも生徒指導の何たることも知らない、浅学非才の身、我ながら驚きました。教科（化学）についてははいっぱい勉強しました。

生徒とはどう接したらよいのか、結局は建前論は無くしてできる限り本音でと。これしかないと思えました。以後もその継続です。

ともかくもこの五年間は、地上に出たばかりのひよろひよろ双葉を、しっかりと大地に根づかせてくれました。先輩・同僚や生徒に恵まれたからです。心から感謝しています。

上田染谷丘高校へ転勤、即担任だったので始業式・入学式は緊張しました。あの旧校舎に西側の高い石

いただきました。大変ありがたうお礼申し上げます。有意義に活用させていただきたいと思っております。

決議事項について

総会の開催ができず二〇二一年度決算・活動報告および二〇二二年度予算案・活動計画につきましては役員会一任とさせて頂いていただきます。ご意見ご質問がありましたら事務局またはホームページよりお寄せいただけますようお願いいたします。



▲上田城（上田城址公園）

造りの塀は、男を近づけない、そんな威圧感がありました。戦争に負けた翌年に生まれた（現上田高校）バレーボール班で練習のために上田高女の門をくぐりました。中学四年生の身の初体験です。それから約二十年後、今度は教員でしたがちょっと身構えました。でも同期の仲間はずらやましく思ったようです。

前任校で学んだ大事なことの一つは、やりたいことがあれば、自分の言葉でその内容をきちんと説明するということでした。染谷の関西方面への修学旅行を、貸切列車ではなく一般列車・新幹線利用を提案、協議の結果そのようになったことは、今も心に残っています。

担任した生徒が三年生の晩夏に、あの古い校舎から山口の新校舎への引越しも忘れられません。机や椅子を手にとっての坂道、汗びっしょりでした。学生運動が盛んで、ベトナム反戦もその頃です。反戦・反安保につながるデモが生徒有志にもありました。「卒業式粉砕」という声がかげにあって議論し、生徒の思いも聴いて椅子を対面式に配置、「仰げば尊し」は止めて「今日の日はさようなら」を歌うことにしました。その歌詞をしっかりと胸に受けとめ別れを惜しんだ事が、つい先日のことのように思い出されます。

それから何年か後に生徒主体で制服の自由化が討議・決定、そして教職員の間で男女共学が議論され決定と、ずい分と変化があった染谷です。四十才にして創設間もないバトミントン班の顧問となり、全くの初心者でしたから、外部の方の教えを乞いながら学び務めました。この経験が次の長野西高で活き、生徒の一人がインターハイ出場。付添いの私は彼女から四国旅行をプレゼントされたようなものでした。

染谷在職中には本場にいろいろな事があり、生徒の顔がいつぱい浮かんでいきます。とても数えきれません。この二十八年間で、私から生徒に多少の「教え」はあったでしょうが、私には逆に多くの生徒から多くのことを教えてもらいました。

十代後半の人生において最も多感・大事な時期の人達と接する機会に恵まれました。心から感謝しています。そしていたずらに疎かな考えで教壇に立つてはならないと教えられました。

砂子澤会長と私は、かつて染谷では生徒と担任の関係でしたが、今は仲間です。その要請もあって一文をいたしました。駄文をお許しください。

上田染谷丘高等学校関東同窓会 2021年度会計報告

収入		支出	
前年度繰越	579,241円	広報費	182,050円
年会費(195名)	195,000円	会報印刷	67,650円
寄付金	285,000円	ホームページ 初期制作費	101,200円
支部費	60,000円	ホームページ 運営費	13,200円
		会報発送費	78,541円
		渉外費	39,000円
		事務費	6,255円
		会議費	21,000円
		交通費	30,600円
		研修(総会時)費	0円
		小計	357,446円
		次年度繰越	761,795円
計	1,119,241円	計	1,119,241円

上田染谷丘高等学校関東同窓会 2022年度予算案

収入		支出	
前年度繰越	761,795円	広報費	88,200円
年会費(200名)	200,000円	会報作成印刷費	68,000円
支部費	60,000円	宛名ラベル印刷費	7,000円
寄付金		ホームページ 運営費	13,200円
		会報発送費	83,000円
		渉外費	84,000円
		事務費	35,000円
		会議費	21,000円
		交通費	50,000円
		研修(総会時)費	50,000円
		小計	411,200円
		次年度繰越	610,595円
計	1,021,795円	計	1,021,795円

高瀬 麻美（高31回）

今年度より新しく関東支部役員を拝命いたしました三十一期生の高瀬麻美（旧姓池田）と申します。共学二期生です。還暦を迎え人のつながりの大切さをより実感するようになりました。関東役員会にお誘いいただいたのも何かのご縁と、できる限りのお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

千葉県野田市在住。本業を自宅で、週末は実家のある別所温泉で過ごしています。二〇二一年に実家を改築し、私設美術館「色の詩人池田輝の美術館 ギャラリー輝」を開館しました。父が生前制作した作品を展示し、世に出していくことが私の使命と一念発起しました。

ギャラリー輝は上田市別所温泉駅徒歩一分。土日のみ開館です。春陽展出品の大作の他、小品を含め常時五十点ほどを展示しております。帰省や北向き観音参拝の際、是非お立ち寄りください。

